

□48□□□□□□□□

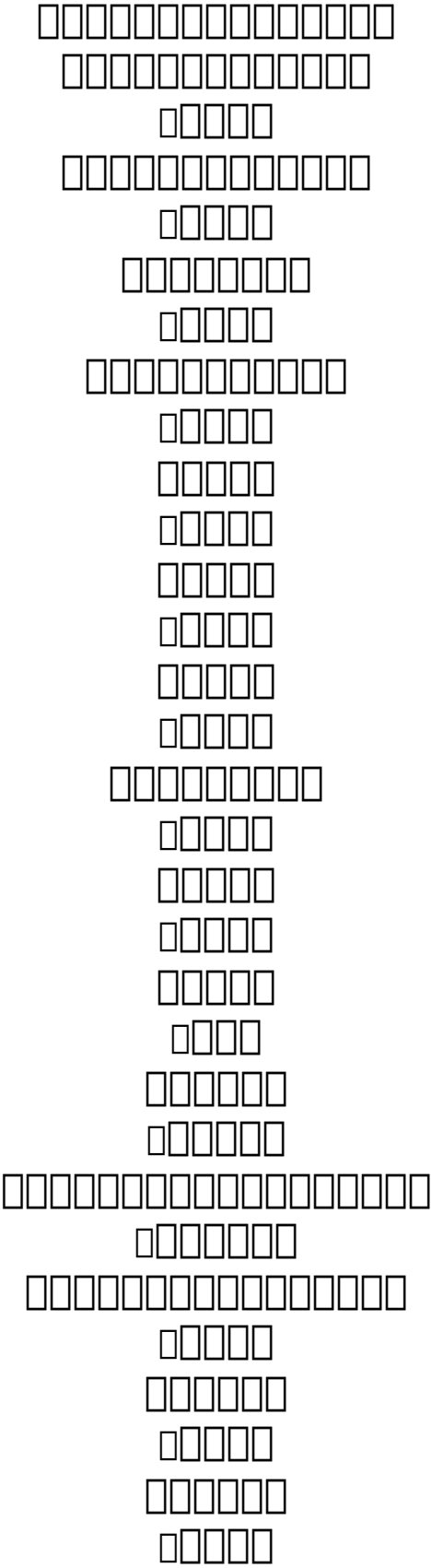


(令和3年度)
自 令和3年11月 1日
至 令和4年10月31日

栃木アンカー工業株式会社 第48期 経営計画書

今期の結果は『私の決断』の遅れが全てである。
2016年(42期)に2020年から大不況になり、2025年から庶民台頭期になると発表し、分かっていながら、47期(2021年)には経審の切替年などに当たり、躊躇した。私の特技である『すぐやる』が実行出来なかった。
第47期に赤字を出したいと計画をしながらも、コロナ等はチャンスなのに、決断が半年遅れてしまって対策が打てたのが、5月の連休後、通常1年はかかるが、5ヶ月で結果が出せたのは幸いであった。
今までは前年が赤字でも新期には累損計上をしなくても、全体で利益が出ているので、
以前の経営計画書では0発進『累損無し』を許していた。そして1人の採用もできないアンカー部の所長の無責任な行動も15年間程度。リフォーム部の若い部長の活躍で採用が出来た為、アンカー部の各所長の職安回りをやっていない無責任な事も黙認してしまった。全て経営責任は『社長荒金』にある。
65歳で退職する予測が壊れて以来、私が責任を持って77歳までやろうと決めた。その後会長職に。
その為にアンカー部の所長他、リーダーに、指導が出来なかった。
今後は外れた道を三年間(50期)までに『王道に戻す』。
売上を2倍の50億円に、利益を税引後2億円に。各リフォーム部の売上の倍増、改良土事業部は3倍にする事が、当社の未来を確立する事だ。
今の私には、現象は激しくても、心は淡々としたものが生まれ、この現象は次のステップであって、新しい物事が生まれて来た。
受け身の方が、より効果が出ると。(執行役員、新部長、新課長の出現)
いよいよ
【 荒金丸は3年かけて、最後の航海です。 】

栃木アンカー工業(株)グループ





□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□ □□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□





□□□□□□□□
□□□□□
□□□□□□□□
□□□□□□□□



□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□2□□□□□□□□□□□□



□□□□□□□□□□□□□□□□□□



□□□□□□□□□□□□□□**GET**□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□
 □□□□□□□□□□
 □□□□□□□□□□



